

障害者の「生きる」に寄り添うコミュニティケア

提供学科：看護学科、福祉総合学科

○目的：

本プロジェクトは、「地域との繋がりに乏しい」という課題の解消に向け、障がいのある方々と地域の皆さまがアートを通じて「つながる」ことを目的として『第2回 風のアール・ブリュット × ココロ・ポリリズム JIU』を開催した。

さらに、障がいのある方の「生きる」に寄り添ったコミュニティケアを実践し、地域共生社会の実現を目指した活動を実施した。



◎ 実施内容：

・展覧会『第2回 風のアール・ブリュット × ココロ・ポリリズム JIU』にて「つながる」プロジェクトを実施

準備段階：

- ①施設を訪問しアール・ブリュット（生の芸術）制作課程の見学会を実施
- ②近隣の施設やお店などにポスター掲示を依頼

当日：

- ①来場者にメッセージカードを書いていた
だき作者へお届けするプロジェクト実施
- ②制作過程の動画作成 / 上映
- ③大学祭でアート体験ワークショップ開催
（写真撮影・フォトフレーム作成）

○学びの効果：

本活動を通して、「障がいは個々人の個性である」ことに気づくとともにインクルーシブの重要性を学ぶことができました。さらに、「言葉だけではない様々な自己表現がある」ことを知り、多様性を認め合うことが、障がいのある方と『つながる』ために重要であることを学びました。また、障がいのある方と地域の方々が『つながる』機会を増やすことで、障がい者の自己実現につながることを学び、活動を継続することの必要性を実感することができたと考えます。結果として、地域共生社会に向けた一歩となったのではないのでしょうか。